



## 2023年度「栄養経営士」資格認定基礎講習 札幌会場開催 講習修了者の全累計は2,263人に

### 管理栄養士にしかできない業務で 施設経営に貢献しよう

日本栄養経営実践協会が主催する2023年度「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)札幌会場が7月23日(日)に開催された。北海道地区での開催は2019年以来で、現地会場は9人、WEB参加は21人の計30人が参加。2015年のスタートから現在までで会場+WEBの受講修了者の累計は1,662人、DVD修了者も含めると2,263人となった。

#### 「稼げる栄養部門」をつくり黒字化を図る

基礎講習は宮澤靖代表理事が自ら登壇し、参加者に直接「栄養経営士としての視点や考え方」について講義を行うものである。基礎講習の修了が「栄養経営士」資格認定試験の受験要件になっているため、栄養経営士は必ずここで宮澤代表理事から教えるを受けることとなっている。

講義は栄養部門が重要になっている理由と、置かれている状況についての確認から始まった。1990年代以降、医療は医師・看護師による少数精鋭から多職種によるチーム医療へと変化した。給食管理業務に追われていくところがある。なぜ、それではないのか、今後はどうあるべきなのかを、宮澤代表理事はさまざま

#### まなデータを使いわたりやすく解説した。

また、栄養部門のマンパワー不足についても「栄養指導など、管理栄養士は患者とコンタクトすることで診療報酬がつくが、事務所や厨房にいても一円も稼げない。稼げない部署に、経営者が人を入れてくれるわけがない」と指摘し、今までは考え方を要するよう、参加者に発破をかけた。

次に、宮澤代表理事は参加者に自部門の課題を聞き、一緒に解決方法を探るとともに、栄養部門を取り巻く状況の問題点を説明した。とくに昨今問題となっている、給食コストの増大や人手不足に触れ、今のまま継続することは難しいと説明。一つの解答として、給食にセントラルキッチンや完調品等の新技術を取り入れつつ

#### 管理栄養士は病棟に出て稼ぎ、たとえ給食費がかさんでも、部門として黒字にすることを提案した。

現状を変えたい管理栄養士はぜひ参加を

午後からは栄養に関する診療報酬やアウトカム分析について触れ、宮澤代表理事が東京医科大学病院で行っている業務改革についても詳しく説明した。実例を挙げながらの講義は参加者にとって大変なためになったのではないだろうか。

その後は病態把握能力や基礎医学の知識の重要性を説き、最後に栄養経営士についての紹介を行って、この日の講義は終了した。

なお、今回の基礎講習では昼休憩時にランチョンセミナーを行われ、株式会社アイドゥの位田毅彦社長が「術後早期回復プログラム(ERAS)について」

#### 基礎講習修了者累計

会場受講者数	1,662人
DVD受講者数	601人
修了者累計	2,263人
(2023年8月22日現在)	

宮澤代表理事が「ERASガイドラインに沿った栄養管理」というタイトルで講演を行った。今後も、参加者に有益なセミナーがあればどんどん取り入れていく予定である。

今年度の基礎講習は、11月18日(土)の仙台会場が最後の日程となる。現状に疑問を持ち、栄養部門を変えたいと思っている管理栄養士がいたら、ぜひ参加して欲しい。現地参加が難しい場合にはWEBで参加する方法もある。一人で多くの方に参加いただけることを願っている。

※詳細は下段の告知をご確認ください

## 2023年度「栄養経営士」資格認定基礎講習 仙台会場(会場/WEB)

### 業務内容・給食管理を見直し「稼げる栄養部門」になろう!

参加受付中

開催日: **11月18日** 10時~17時

形式: 現地会場とオンラインのハイブリッド

受講料: 【一般】8,500円 【会員】5,100円 ※税込

会場: ハーネル仙台5F いちよう

(宮城県仙台市青葉区本町2-12-7)



講師: 宮澤 靖

一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事  
東京医科大学病院栄養管理科 科長

基礎講習のお申込み・  
詳細はこちらから➡



一般社団法人 **日本栄養経営実践協会**  
The Japan Association for Nutritional Management Practice

## 栄養経営実践オンラインセミナー 病棟配置に向けた部門運営と教育体制構築のポイント

# 管理栄養士が病棟で活躍するために 必要な教育と業務管理を学ぼう！

協会本部では、病院管理栄養士の病棟常駐に向けたオンラインセミナーを開催している。第2回は講師に本部の西岡心大理事を迎え「病棟配置に向けた部門運営と教育体制構築のポイント」と題して、10月19日(木)に開催する。

これからの病院管理栄養士はより良いチーム医療の実現のため病棟常駐が期待されているが、そこに高いハードルを感じている人も多い。そこで、協会では管理栄養士の病棟常駐に向けたセミナーを開催し、会員が「第一歩」を踏み出すための後押しをしている。

よりコメントをいただいたので紹介する。

### 講師からのコメント



西岡心大

日本栄養経営実践協会 理事  
長崎リハビリテーション病院 教育研修部副部長・栄養管理室 室長

管理栄養士に必要な卒業教育の体制をどのようににつくるか

管理栄養士は、養成

校で医療の専門職として必要な科目のみを学ぶわけではなく、あらゆる分野に通用する管理栄養士としての基礎を学びます。

一方、他の医療職は医療の専門職としてのカリキュラムに沿った教育を受け、実習期間も長く設けられています。それを考えると、管理栄養士は卒業後、就職してから医療職として付加的な教育を受けることが重要だと考えます。その意味では、入職後1年くらいはトレーニング期間が必要

だと思えますし、管理栄養士にはそういう期間が必要であると経営層に伝えることも重要だと思います。

1年のトレーニング期間を取ることが難しい病院や施設の場合、例えば1、2週間の教育プログラムを作るだけでも変わってくるはず。また、教育内容にばらつきが出ないよう、業務を標準化し、マニュアル化するというステップも大事です。

セミナーでは、実際に私たちが行ってきた

栄養部門の業務管理の考え方や、スタッフのトレーニング方法を紹介しながら、そのあたりを解説していきたいと思っています。

必要なスキルは何かを  
考え教育を組み立てる

参加者の皆さんとは、病棟で栄養管理を行うための要素、スキルセット、マインドセットをセミナーのなかで共有しておきたいと思っています。

例えば、教育担当者が「ちょっと勉強すれば、病棟で栄養管理ができるだろう」と思って教育してしまうと、新人職員は仕事の目標値が低くなってしまいます。それでは質は上がらず、アウトカムも出せません。病棟にいる意味は「結果を出すこと」。そのためには「高い質」が必要です。

そして、質を出すためには、どんなスキルがあれば栄養管理の質があがっていくのかを理解することも必要です。これは病棟機能や診療科ごとに変わることで、それを認識することも大切です。

こうした考えを元に、教育を組み立てることの大事さを理解して欲しいと思います。

自分たちの手で選び、決断する時代

今回のセミナーは、どちらかというと教育する立場にある中堅から部門長クラスの方に向けた内容になります。もちろん、将来を見据えて新人の方に勉強していただいてもかまいません。

近年の病院管理栄養士は色々な面で期待され、役割が拡大しています。しかし、期待される役割をどのように果たすかは誰かが教えてくれるわけではありません。

自分たちは何に集中し、それをどのように実行していくのか。それを各々の職場で選んでいくのは必要で、正解は一つではなく、やってみなければ正解はわかりません。ただ、方向性を決断しなければならぬ時代になっているのは確かです。

## セミナー概要

栄養経営実践オンラインセミナー  
病棟配置に向けた部門運営と  
教育体制構築のポイント

日時：10月19日(木) 19:00~20:00

会場：オンライン ※Zoomにて開催

講師：西岡心大氏

一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院  
教育研修部副部長・栄養管理室 室長  
日本栄養経営実践協会理事

### プログラム

- ・病棟配置を可能にする病棟運営とは
- ・教育体制の構築がカギ
- ・給食部門の位置づけを考える
- ・質疑応答

参加費：【会員】2,000円  
【一般】3,000円 ※税込

主催：日本栄養経営実践協会

問い合わせ先：

日本栄養経営実践協会 事務局  
TEL:03-3553-2903

詳細・お申込みはこちらから▶



## 2023年「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です！

# 「栄養経営士」 資格認定試験

■試験日：毎日受験可能

■受験料：9,500円(消費税・システム利用料込み)

■実施方法：IBT(Internet-Based Testing)方式

※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験

■受験エントリー期間：通年

■受験資格：管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は  
WEB・DVDによる受講も可能です！

DVD受講は3枚組、特典映像  
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会  
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F  
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904



## 支部NEWS

## 北海道支部

## 九州支部

## 【北海道支部】 セミナーレポート

## 仲間と課題を共有し、自院にあったラダーを考えよう

## 第2回北海道支部研究会 人材育成におけるラダー活用

7月22日(土)、北海道支部は「人材育成におけるラダー活用」をテーマに、会場およびオンラインのハイブリッド形式で研究会を開催しました。

協会本部および北海道支部の田中智美理事のほか、この日は翌日に基礎講習札幌会場を控えた宮澤代表理事も途中参加し、活発な意見交換が行われました。

## 3つの事例から考える人材育成のあり方

はじめに田中理事(医療法人 湊仁会手稲湊仁会病院)が、趣旨説明とともに「人材育成に正解はないため、まずは互いの取り組みや課題を共有しよう」と呼びかけ、研究会はスタートしました。

事例発表1人目として医療法人社団慶友会吉田病院の阿部孝枝さんが登壇し、ラダー作成の経緯や気づきなどを解説しました。栄養部門の人材が定着しない課題があったことから教育の必要性を感じ、『栄養経営士テキスト』を参考にラダーを作成したと振り返った阿部さん。「ラダーには臨床栄養の質の標準化を目指した教育体制の整備と、適正な評価でキャリアアップの方向性を確認できるような要素を盛り込ん

だ」と説明。これによって部門内の業務整理と人事考課での客観的な面談が可能になった一方で、知識の習熟度の個人差や新卒教育の課題も見えたと語りました。最後に「業務の質の標準化を意識し、より効率よく育成できるようラダーをアップデートしていきたい」と締めくくりました。

2人目には、社会医療法人 医仁会中村記念病院の稲葉久子さんが登壇。稲葉さんは、教育体制の不十分さに気づききっかけとなったのが「今年度から給食管理が直営から全面委託となり、栄養管理業務を見直したこと」だったと説明しました。さまざまな課題が明るみとなったため、まずは個人課題を解決するための目標シートを導入。さらに業務ごとに部門を設けて担当別に推進していけるよう組織を変革している最中であるとし、「課題をSWOT分析で洗い出しながら、『まずはやってみよう』の合言葉で取り組んでいる」と説明しました。最後に、「栄養課としての目標を明確にしたうえで、これを取り入れたラダーを作りたい」と抱負を述べました。

続いて田中理事が、実際に運用している教育ラダーをもとに、令和時代における人材育成の

あり方について持論を展開しました。発表のなかで田中理事は、「人材育成は1日にしてならず。長期的な視点を持ちながら、自分の意思で登りたくなる階段を設計することが求められる」と、ラダーの必要性を強調。そのうえで自院の具体的な運用方法を解説しました。その後は宮澤代表理事をオブザーバーとして迎え、会場とオンライン交えてディスカッションが行われました。

第3回は10月28日(土)に開催予定。「栄養部門の災害対策&危機管理どうしてる?」をテーマに集合形式で開催します。



会場とオンラインあわせて50人ほどの参加者が集まった

## 【九州支部】 セミナーレポート

## イチから学ぶ動脈硬化性疾患ガイドライン 高脂質や飲酒などを改めて学ぶ

## 管理栄養士のための基礎医学講座～動脈硬化のガイドライン編～

日本栄養経営実践協会九州支部は7月16日(土)、「動脈硬化」をテーマとした「管理栄養士のための基礎医学講座」を開催しました。この講座は管理栄養士が業務を行う上で必要な、基礎的医学の知識習得が目的とし、年に2回行っています。講師は九州女子大学家政学部栄養学科教授の三浦公志郎氏が務め、会場での講座とライブ配信を行いました。

## 動脈硬化の定義からガイドライン改定まで説明

今回は2022年に改定された「動脈硬化性疾患予防ガイドライン」(日本動脈硬化学会)について講義を行った。

前半は動脈硬化症の定義、病態や危険因子について振り返った。動脈硬化を起こしている血管を図で示し、一度動脈硬化症が起これば不可逆であると説明。昨年の人口動態統計の概況では、日本人の主な死因は虚血性心疾患が約15%、脳梗塞が約7%、血管性認知症・大動脈瘤離断が各約1.5%と動脈硬化症に起因するものが多数を占めており、一次予防・二次予防が必要だと改めて示した。

同ガイドライン2007年版においても、「動脈硬化性疾患「診療」ガイドライン」から「予防」に名称変更しており、「動脈硬化性疾患の予防」を目指した内容となっている。特定健診・特定保健指導への影響も大きいだろう。

## 改定点の詳細解説で参加者の理解が深まる

後半はガイドラインについての講義し、まず見方について説明した。項目には「BQ」と「FQ」が付いており、「BQ」とはbackground question(疾患の原因等)、「FQ」とはforeground question(臨床現場において意思決定に関する疑問)を指す。

次に22年度版の主な改訂点について、以下の5つに重点をおいて説明した。

- ①随時のトリグリセライドの基準値の設定
- ②リスク評価手法に久山町研究のスコアを採用
- ③糖尿病患者のLDL-Cの管理目標について、合併症または喫煙ありの場合は100mg/dL未満に
- ④二次予防対象にアテローム血栓性脳梗塞を追加
- ⑤非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)、非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の項目、生活習慣の改善に飲酒の項を追加

①では空腹時、随時にかかわらずトリグリセライド(中性脂肪)は、将来の冠動脈疾患や脳梗塞の発症や死亡を予測するとした。中性脂肪は食事による変動が大きく、値が高いと将来の冠動脈疾患や脳梗塞の発症や死亡のリスクを高めることが国内の疫学調査でも示されて

いる。

②では、動脈硬化性疾患リスクに応じたカテゴリー分類として、「久山町研究のスコア」にもとづく絶対リスクを用いたフローチャートが示された。久山町研究では、冠動脈疾患とアテローム血栓性脳梗塞を合わせた動脈硬化性疾患がエンドポイントとされている。

⑤については、危険因子の評価で「多量飲酒」は発症や脂肪を増加させるとし、ビンジ飲酒(むちゃ飲み)として2時間以内のアルコール摂取量が男性70g、女性56gでリスク増としている。また、NAFLD/NASHの追加について、肝臓系の疾患と脂質異常症は関連があり、心血管疾患の発症・死亡リスクも高リスクとなっている。

参加者からは「ガイドラインの改訂は1人で読み込むにはなかなか難しいところがあったが、今回の講義では一つひとつの解説がわかりやすかった」等の好意的な感想が多く、好評であった。

九州支部では、今後も管理栄養士に向けての基礎医学講座を年2回のペースで実施する予定である。興味があればぜひ参加して欲しい。

受講生からは「普段なんとなく理解していた部分が明確になり、他の受講生からの質問も参考になった」と、日々の業務の振り返りになっているようでした。

# 栄養経営士が知っておきたい！ イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

## 協会事務局より

### 2023年12月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年12月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内をメールでお送りしております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。なお、**今回からメールのご案内・オンラインでの手続き**となります(下記参照)。郵送のご案内はございませんのでご注意ください。

- 年度会費：有効期限が2022年12月20日～2023年12月19日の方  
【個人正会員】10,000円  
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2020年12月20日～2023年12月19日の方  
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)  
※申請書類・課題をご提出ください。  
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 振込期限：2023年11月19日までに指定口座に振込
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局  
TEL：03-3553-2903

## 3経営士合同 関西支部研究会

### ACPと成年後見制度について学ぼう！

11月期・12月期の医療・介護・栄養3経営士合同研究会は、高齢者の終末期医療や財産管理に関する情報を会場とオンライン(Zoom)のハイブリッドで発信。講師の先生方が事例を交えながらわかりやすく解説します。

- 2023年11月23日(木・祝) 14:00～17:00  
医療・介護従事者が知っておきたい「もしものとき」を支えるACPの手引き  
西山順博氏(医療法人西山医院 理事長・院長)
- 2023年12月17日(日) 14:00～17:00  
明日から現場で使える! 成年後見制度実践セミナー  
東向 勲氏(ひがしむき行政書士事務所代表)
- 会 場：本町第2ビル2Fセミナールーム(大阪市中央区本町2-2-5)
- 参加費：会員:全2回:4,000円、各回:2,500円  
一般:全2回:6,000円、各回:3,500円
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 関西支社  
(担当:喜津木)  
TEL:06-7660-1761

## WEBセミナー

### 女性・子ども・高齢者・アスリートにおける 貧血が招くリスクと鉄分摂取の重要性

「貧血が招くリスクと鉄分摂取の重要性」について説明し、放置すると危険な貧血について、鉄不足が招く症状やリスクのほか、鉄分の種類と摂りやすさ、鉄強化事例なども紹介します。

- 配信期間：2023年10月6日(金)～15日(日)
- 講 師：南 千代子氏(太陽化学株式会社 メディケア事業 主任)
- 所要時間：約30分間
- 参 加 費：無料
- お問い合わせ：太陽化学株式会社メディケア事業  
Mail:support@taiyo-medi.com



## WEBセミナー

### ”栄養士のための” よくわかる嚥下評価のコツ

「栄養士向けの嚥下評価の講座をやってほしい」「STがいなくても栄養士のできる評価のポイントや食形態選択のコツを知りたい」という要望に応えた講座で、摂食嚥下の基礎知識から実践的な嚥下評価ポイントまで学べます。

- 日 程：2023年10月15日(日)、10月22日(日) 10:00～12:00  
※各回、内容は同じ
- 講 師：大野木宏彰氏(嚥下リハサポート代表/言語聴覚士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)
- 参加費：4,000円
- 開催形式：オンライン(Zoom)
- 定 員：50名
- お問い合わせ：嚥下リハサポート事務局  
<https://www.enge-support.com/contact/>



## お知らせ

# 更新手続きがオンラインになりました！

「栄養経営士」「栄養経営サポーター」の資格更新手続きが、オンライン(協会ホームページ内の特設ページ)でできるようになりました。手続きの詳細は下記QRからご確認ください。※ホームページからお申込みできない方は、本協会まで直接お問い合わせください。

### ■更新申請の手順

事務局から届いたメールの本文内にあるURLから「『個人正会員』資格の更新申請手続き」「『サポーター会員』資格の更新申請手続き」を開き、手順に従って進めてください。  
手順は次の3つです。

①「個人正会員」「サポーター会員」更新申請フォーム入力

② 更新手数料・年会費の納入

③ 顔写真・更新課題<sup>\*1</sup>をメールで提出

すべて終了した方は審査を行い、通過した方には新しい「認定証」「会員証」<sup>\*2</sup>を交付します。

<sup>\*1</sup>「サポーター会員」に更新課題はありません。

<sup>\*2</sup>「サポーター会員」には精読用の指定図書も交付されます。

### ■更新期間および手数料について

【更新期間】3カ年 【更新手数料】5,000円

※振込み時には、更新手数料5,000円と年会費(「個人正会員」10,000円、「サポーター会員」8,000円)を合わせた金額をお支払いください。

◎更新時に必要な顔写真の規定や「個人正会員」の更新課題の内容など、資格更新の各手続きに関する詳しい内容は協会サイトの説明ページをご確認ください。



日本栄養経営実践協会 事務局

TEL:03-3553-2903

(10:00～12:00、14:00～18:00、土日祝・年末年始を除く)